



見附市立見附小学校 学校だより

「自ら学び 進んで鍛え 共に伸びる見小の子」

みしよ

No. 340

令和5年9月28日(木)発行

〒954-0052

見附市学校町1丁目3番89号

Tel 0258 (62) 0141

<http://www.mitsuke-ngt.ed.jp/~misho/>

過去の便り
もご覧にな
れます。



「友達の一言は力になる」

校長 後藤 正美

温かな気持ちや勇気、そして、楽しく豊かな時間をいただきました。

写真は、創立150周年記念愛育会講演会の様子です。寺田ユースケさんのご講演に参加された方は、きっと私と同じような気持ちになったのではないのでしょうか。寺田さんは、先天性の脳性麻痺により首から下に麻痺がありながら、イギリス留学やお笑い芸人などに挑戦したり、YouTube等、各メディアで活躍なさったりしている方です。実際にお会いし、寺田ご夫妻の人的魅力から多くを学ばせていただきました。紙面では伝えきれないのですが、心に残った言葉を紹介します。

- ・先天性の脳性麻痺と診断されたわが子に両親は葛藤したが、「起きてしまったことに人生の時間を使うのではなく、この子の夢のために使おう」と決心。楽しく工夫しながらリハビリを始めた。
- ・友達の一言は力になる。野球チームに入り、9番ライトで公式戦に出られたのは友達のおかげ。
- ・カッとなって相手にあたると言葉はナイフになる。これはずっと消えない。言ってしまったときは、すぐに謝る。ちゃんと謝る。ごめん本心じゃないんだと謝る。
- ・置かれた環境のせいにせず、努力すれば何かが起こる。
- ・すべての人が気軽に「助けて」と言えて、気軽に後押しできる世の中にしたい。最初、自分自身の夢はわからなかった。挑戦する人を後押しできるヒーローになるのが今の夢。目の前のことを一生懸命やっていたら、必ず誰かが見ている。

(寺田ユースケさんのご講演より)

保護者の方が涙を流して聞いてくださったこと。みんなの前で自分の夢を次々に挙手して発表した5・6年生の姿。ハイタッチと笑顔で見送ってくれた姿。寺田さんはこうしたことをとても喜び、見附小に感謝していただきました。

限られた参会者でしたが、150周年の節目に相応しい講演会であり、優しい空気に包まれた会場での子供たちの表情が印象的でした。

ご準備いただいた愛育会の皆様に、改めて感謝いたします。